フォト句会 2025年9月度報告

開催日:9月9日(火)

時 間:15時30分~17時30分

出席者:7名

写真出題:清水

付け句お題 JAXAのM-Vロケット

(出題:清水)



付け句「JAXAのM-Vロケット」: 出題:清水

打ち上げた残骸どこへ行くのやら 清水 勝

各国が打上げた多くのロケットは、宇宙に残っている?

ペンシルが七十年でこのデカさ 松田昌康

ペンシルロケットから始まった進歩に目を見張る。

ペンシルの糸川博士感無量 矢澤 正二 昨今の進歩には、先人も驚いていることだろう。

百年後宇宙人連れ帰還せよ 安藤 晃二

壮大な夢が実現する時が、果たして来るのか?

実機見て宇宙は遠く果てもなし 清水 勝

このロケットで、無限の宇宙に乗り出すことを想像した。

大きさに劣等感を抱く我 中村 晃也

ロケットと自分を較べる人がいるとは・・・

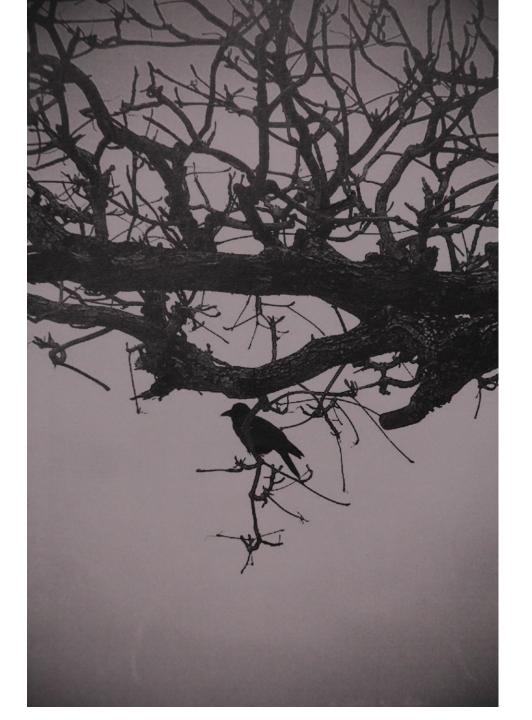
脱地球?月も火星も気乗りせず 三春 住み慣れた地球を離れるなんて、考えられない。

自由題



空蝉や抜け出た後は





咫烏!? (三春)



東京砂漠を高いる。 (鬼也)



訪问者 (乳ニ)

自由題 寸評

- 1)空蝉や抜け出た後は涼しげに 矢澤 正二 主の巣立った後も、草につかまり静かに留まる。
- 2) さあ走れ神を求めて先端へ 清水 勝 ゴールの岬が見えたら、元気が出て一目散。
- 3)迷いみち吾を導くは八咫烏!? 三春 枝先に止まる鳥を、すっきりした構図で切り取った。
- 4)東京砂漠人影も雲も見えない酷暑 中村 晃也 険しい崖に咲く花にも、ようやく陽が当たって来た。
- 5)玄関にみどりゆかしき訪問者 安藤 晃二 紫陽花の青から、ベルサイユの貴婦人を連想。